

令和7年度 第1回三郷市健康推進協議会 議事録

日時 令和7年8月25日(月)

13:15～14:30

場所 本庁舎東別館 第一委員会室

【出席者氏名】

《委員》 草薨博昭委員、飯箸真康委員、柴田千晶委員、高山美年子委員、
土橋みちよ委員、滝澤隆委員、神谷功一委員、山田加世子委員（8名）

《事務局》原山いきいき健康部理事、
大村和男いきいき健康部参事兼健康推進課長、
清水厚子健康推進課長補佐兼健康づくり係長、
須永奈々子こども家庭センター主幹兼おやこ保健係長、
八巻絢子健康推進課主幹兼地域保健係長、渡邊侑也健診予防係長、
山口彬健康づくり係主任、浅賀達也健康づくり係主任（8名）

《傍聴人》 0名

1 開 会 大村 いきいき健康部参事

2 挨拶 草薨 協議会会長
原山 いきいき健康部理事

3 議 事 草薨協議会会長（議事進行）

1) 令和6年度事業報告について
資料1について説明。

2) 令和7年度事業計画について
2-1) すこやかみさと推進事業について
資料2-1について説明。

質問： 「うごく」の「スタンディングミーティング」とはどういうものか。市民
向けに行っているのか。 (柴田委員)

回答： 座位時間が長くなると健康に悪影響が生じるため、席に座らず立ったまま
会議等を行う取り組みである。現在は当課で実施しており、市民向けには実
施していない。企業向けには啓発を行っている。

(清水健康推進課長補佐兼健康づくり係長)

2－2) 健康診査・がん検診について

資料2－2について説明。

質問： 先日自分宛ての特定健診の勧奨はがきを受け取った。福岡県久山町統計による10年後の疾病発症確率の予測数値等が記載されていたが、勧奨はがきに盛り込んだ経緯は。
(山田委員)

回答： 令和5年度、6年度は県国保ヘルスアップ事業の活用により、県が選定した事業者が勧奨はがきの作成・発送を行っている。令和7年度は複数社の事業提案から選出するプロポーザル形式の契約により、ひさやま元気予報を勧奨はがきとして事業提案した企業の案を採用した。福岡県久山町は年齢分布が全国平均に近く、大学の研究に基づいて将来の疾病リスクを予想したものとなっている。

(渡邊健診予防係長)

2－3) 高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施

高齢者の個別的支援事業について

資料2－2について説明。

2－4) がん患者アピアランスケア用品購入費助成事業について

資料2－4について説明。

2－5) 母子保健事業について

資料2－5について説明。

2－6) 帯状疱疹ワクチン接種について

資料2－6について説明。

質問： 不活化ワクチンは2回接種とのことだが、1回あたりの自己負担額はいくらか。
(滝澤委員)

回答： 1回あたり12,000円であり、計2回で24,000円の自己負担となる。
(清水健康推進課長補佐兼健康づくり係長)

次回の協議会の日程：令和7年10月6日に開催予定として連絡

4 閉 会 飯箸副会長